

■営業本部

■第一営業部

鹿児島営業所:	鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062 Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800
南薩営業所:	鹿児島県南九州市知覧町瀬世牧口1160 〒897-0305 Tel.0993(84)2265 Fax.0993(84)2283
大島営業所:	鹿児島県奄美市住用町城547 〒894-1111 Tel.0997(69)5311 Fax.0997(69)5055
北薩営業所:	鹿児島県薩摩川内市中福良町2135-1 〒895-0042 Tel.0996(27)1930 Fax.0996(27)2962
始良営業所:	鹿児島県始良市平松1880 〒899-5652 Tel.0995(65)3221 Fax.0995(65)3205
大隅営業所:	鹿児島県鹿屋市川西町4029-2 〒893-0032 Tel.0994(43)4002 Fax.0994(43)4006
沖縄営業所:	沖縄県豊見城市翁長 854-1 6F いいオフィス豊見城内 〒901-0223 Tel.098-943-5624 Fax.098-943-5629

■第二営業部

宮崎営業所:	宮崎市田代町6-1 〒880-0855 Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059
日南営業所:	宮崎県日南市大字平山390 〒887-0033 Tel.0987(23)5500 Fax.0987(23)3580
都城営業所:	宮崎県都城市高城町石山2980 〒885-1205 Tel.0986(58)4518 Fax.0986(58)4826
延岡営業所:	宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104 TEL.0982(28)5015 FAX.0982(28)5442
大分営業所:	大分市上戸次字長河原3700番地 〒879-7764 Tel.097(597)1148 Fax.097(597)1607

■第三営業部

福岡営業所:	福岡市博多区東比恵3丁目13-10 スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007 Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259
北九州営業所:	北九州市小倉南区下城野3丁目1-25 〒802-0804 オフィスハレア下城野I B棟4号 Tel.093(482)3581 Fax.093(482)3583
福岡南営業所:	福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地 〒835-0001 Tel.0944(62)4123 Fax.0944(63)3281
対馬出張所:	長崎県対馬市上県町檉滝1062 〒817-1522 Tel.0920(88)5800 Fax.0920(88)5801
熊本営業所:	熊本市中央区八王寺町30-1 メインプレイス熊本南2-A 〒860-0831 Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532

■関連会社

東京セメント工業(株)

本社: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(623)7788 Fax.042(625)1777

関東営業所: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(624)5485 Fax:042(624)0496

福島営業所: 福島県西白河郡矢吹町諏訪の前15番地 〒969-0247
Tel.0248(44)2611 Fax.0248(44)2614

栃木営業所: 栃木県那須塩原市鍋掛1091番43 2F 〒325-0013
Tel.0287(62)2340 Fax.0287(62)2342

仙台営業所: 宮城県大崎市松山千石字一本松51番地 〒987-1304
Tel.0229(55)3131 Fax.0229(55)3139

仙台事務所: 仙台市青葉区北目町1番18号
ピースビル北目町 8F 〒980-0023
Tel.022(796)5071 Fax.022(796)5072

技術部: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(624)5485 Fax:042(624)6373

開発事業部: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(623)7783 Fax:042(625)1777

山口インフラテック(株)

山口県防府市大字植松741 〒747-0836
Tel.0835(29)0021 Fax.0835(29)2940

(株)佐藤コンクリート工場

本社: 福岡市東区多の津四丁目16番15号 〒813-0034
Tel.092(612)2311

飯塚工場: 福岡県飯塚市内住2795 〒820-0713
Tel.0948(72)4335 Fax:0948(72)4336

関門コンクリート工業(株)

山口県下関市大字山田693番地1 〒752-0901
Tel.083(248)1313 Fax.083(248)3180

■東日本営業部

東京営業所:	東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003 Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283
仙台営業所:	仙台市青葉区北目町1-18 ピースビル北目町8F 〒980-0023 Tel.022(211)5131 Fax.022(211)5132

■西日本営業部

大阪営業所:	大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー5F 〒532-0011 Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255
和歌山営業所:	和歌山県田辺市稲成町336-1 第一ビル303号室 〒649-0051 Tel.0739(33)2444 Fax.0739(33)2245
(岩出):	和歌山県岩出市高瀬84-2 岩出NDビル101号室 〒649-6234 Tel.0736(69)1780 Fax.0736(62)1720
広島営業所:	広島市佐伯区旭園3番33号 アルティメイト building 五日市駅前5F 〒731-5133 Tel.082(943)5441 Fax.082(924)2056
京都営業所:	京都市伏見区深草鞍ヶ谷12番地6 〒612-0822 Tel.075(646)2525 Fax.075(646)3877
兵庫営業所:	兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311 Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302
出雲営業所:	島根県出雲市斐川町上庄原1654-3 〒699-0505 Tel.0853(72)0244 Fax.0853(72)0245
名古屋営業所:	名古屋市中区栄二丁目13-1 名古屋パークプレイス5F 〒460-0008 Tel.052(684)7258 Fax.052(684)7259
三重営業所:	三重県伊勢市小俣町元町1603-1 〒519-0503 Tel.0596(22)1285 Fax.0596(22)1293
静岡営業所:	静岡県掛川市本郷416番地 〒436-0111 Tel.0537(26)2221 Fax.0537(26)0519

■設計技術部

鹿児島設計技術課:	鹿児島営業所と同じ
宮崎設計技術課:	宮崎営業所と同じ
福岡設計技術課:	福岡営業所と同じ
設計技術課(西日本):	大阪営業所と同じ
設計技術課(東日本):	東京営業所と同じ

■広域営業部

広域営業部(本社):	鹿児島営業所と同じ
広域営業部(仙台):	仙台営業所と同じ
広域営業部(東京):	東京営業所と同じ
広域営業部(大阪):	大阪営業所と同じ
広域営業部(本社):	福岡営業所と同じ

■総合技術研究所

鹿児島技術課: 鹿児島県始良市平松13141-1 〒899-5652
開発課: Tel.050(3085)9434 Fax.0995(55)1070

兵庫技術課: 兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311
Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302

※社会情勢により、やむなく価格、形状を変更する場合がございますのでご了承ください。



注意

- 施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。
- 本カタログに記載する製品の仕様および性能は、該当製品の一般的な使用条件として揭示するものです。特殊な条件で使用される場合には、事前に弊社の担当者にご相談の上、技術的な確認を行ってください。

大型練積みブロック(省力型間知 1個/m²)

KPブロック(低擁壁用)
KPBブロック(高擁壁用)



平均明度	6.0	平均明度	5.5	輝度の標準偏差	21
------	------------	------	------------	---------	-----------

※製造工場
 山口インフラテック(株)本社工場
 インフラテック(株)大分工場
 インフラテック(株)三重第二工場
 インフラテック(株)静岡工場

※製造工場
 インフラテック(株)鹿屋工場

KPブロック

〈大型練積みブロック(省力型間知 1個/m²)〉

●特長

- 1.1個が1m²と大型なので、工期は大幅に短縮され、作業の省力化が出来ます。
- 2.基礎部をプレキャスト化する事により、施工労力を軽減しました。
- 3.自立式ブロックのため、施工作業が安全に行えます。
※呼び寸法350には支保材が必要です。
- 4.裏壁があるため、裏型枠は必要ありません。
- 5.ブロック表面が擬石模様なので、自然との調和が図れます。
- 6.胴込コンクリートが一体化するため、強固な練り積み擁壁を形成できます。

■使用条件(直高と法勾配との関係) (道路土工 擁壁工指針)

直高(m)		~3.0	3.0~5.0	5.0~7.0
法勾配	盛土	1:0.4	1:0.5	-
	切土	1:0.3	1:0.4	1:0.5
ブロック控長		45cm	50cm	55cm

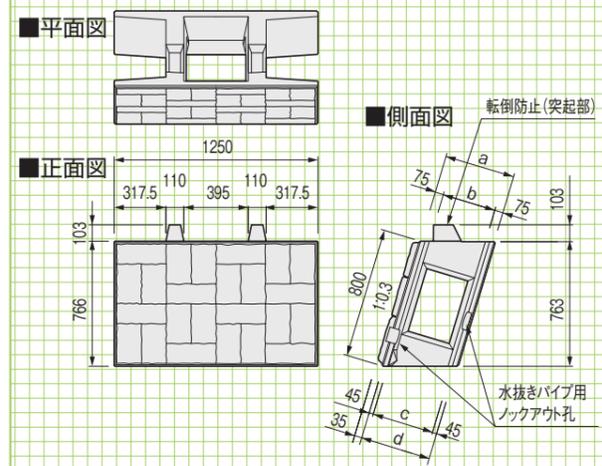


平均明度 6.0 5.5
輝度の標準偏差 21

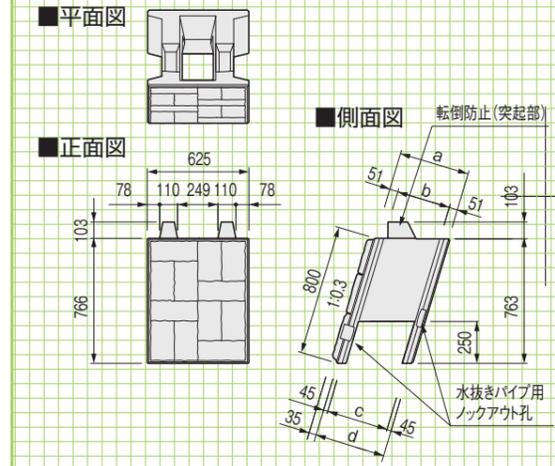
基本形状図型

形状・寸法重量表

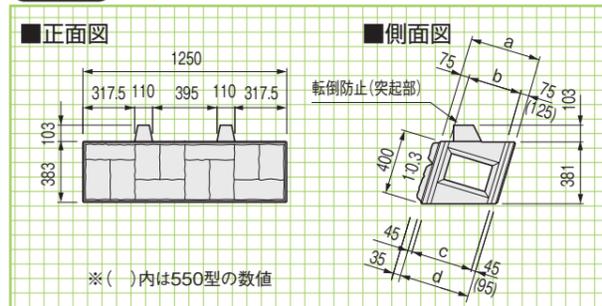
本体A



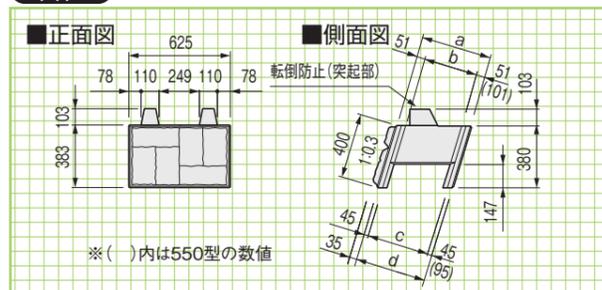
本体B



本体C



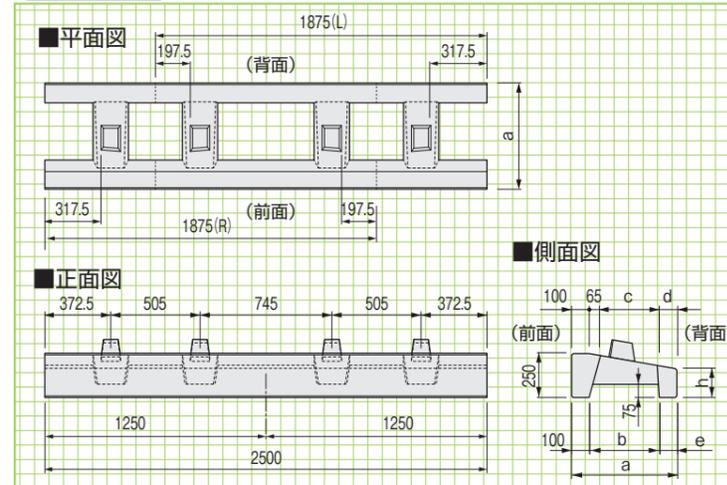
本体D



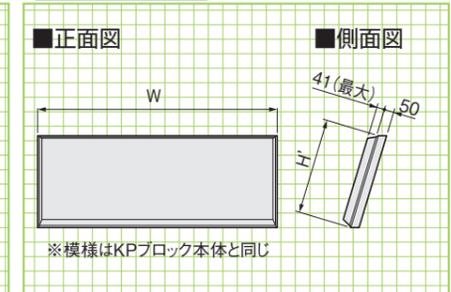
■寸法・重量表

呼称	寸法(mm)	胴込量	参考重量
呼び寸法	型 a b c d	(m ³)	(kg)
350	A型	350 200 260 350	0.178 404
	B型	350 248 260 350	0.072 251
	C型	350 200 260 350	0.089 202
	D型	350 248 260 350	0.036 125
450	A型	450 300 360 450	0.273 425
	B型	450 348 360 450	0.110 272
	C型	450 300 360 450	0.136 212
	D型	450 348 360 450	0.055 136
500	A型	500 350 410 500	0.320 433
	B型	500 398 410 500	0.131 280
	C型	500 350 410 500	0.160 216
	D型	500 398 410 500	0.066 140
550	A型	550 400 460 550	0.361 450
	B型	550 448 460 550	0.158 310
	C型	550 350 410 550	0.160 276
	D型	550 398 410 550	0.166 170

基礎ブロック



天端調整パネル

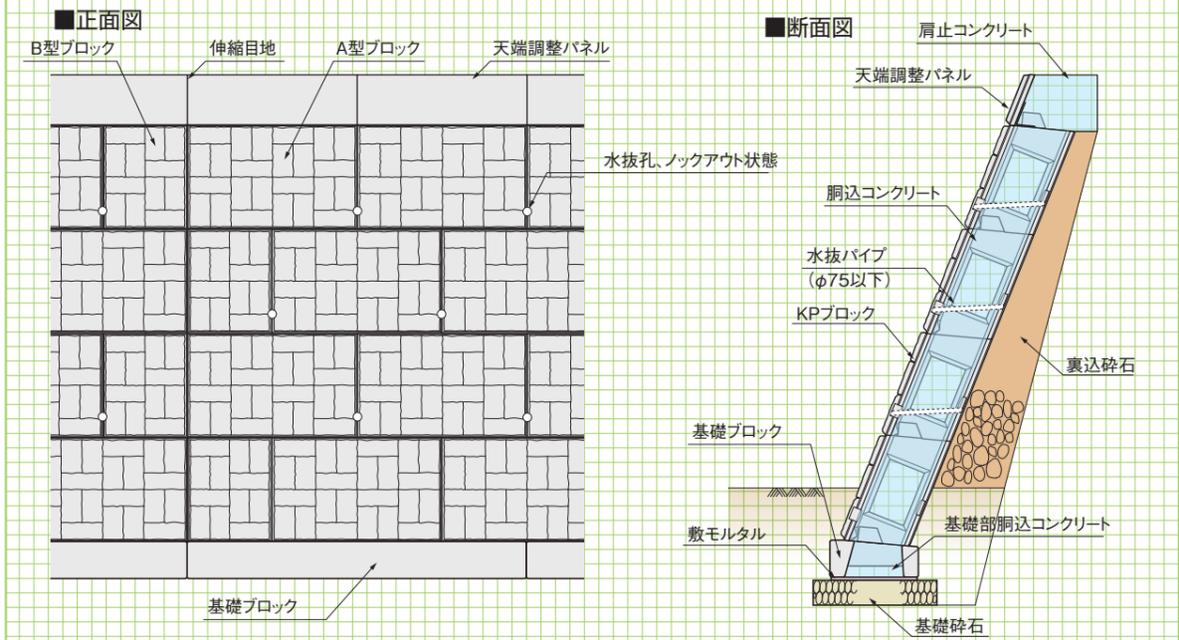


■天端調整パネル 寸法・重量表

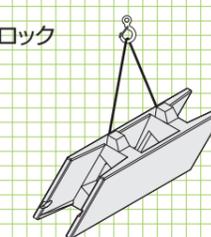
呼称(H')	参考重量(kg)	
	W=1250	W=625
200	50	25
300	70	35
500	115	60

寸法・重量表

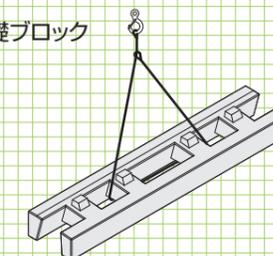
呼称	寸法(mm)	胴込量	参考重量
呼び寸法	勾配 a b c d e h	(m ³)	(kg)
350	1:0.3	500 300 220 115 100 250	0.132 437
	1:0.4	500 300 221 114 100 214	0.125 411
	1:0.5	500 300 223 112 100 180	0.119 385
450	1:0.3	600 400 320 115 100 250	0.180 470
	1:0.4	600 400 321 114 100 205	0.169 430
	1:0.5	600 400 323 112 100 163	0.158 395
500	1:0.3	650 450 370 115 100 250	0.206 482
	1:0.4	650 450 371 114 100 201	0.191 439
	1:0.5	650 400 323 162 150 154	0.157 442



■本体ブロック



■基礎ブロック



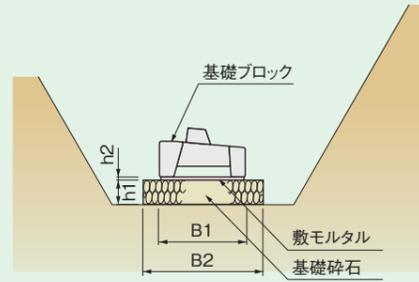
基礎ブロック

形状・寸法重量表

標準施工図

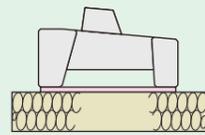
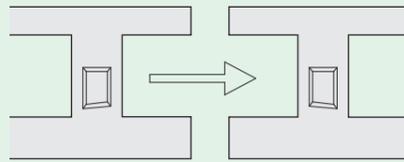
ブロックの吊上方法

1 掘削および基礎工



1. 掘削深さは根入れ深さ、基礎砕石、敷モルタル厚さを考慮し、掘削は基礎地盤を乱さないように行います。

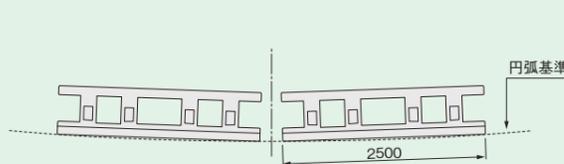
2 基礎ブロック据付工



1. 基礎ブロック据付け精度の良否で工事仕上り(スピード、出来映え)が決定するので、設計図書通り慎重、且つ確実に行います。
2. カーブ施工は上部本体ブロックとの関連性をよく考え「4.カーブ施工」を参考にします。
3. 敷設後は基礎ブロック開孔部にコンクリートを2/3程度充填し、一体化を図ります。

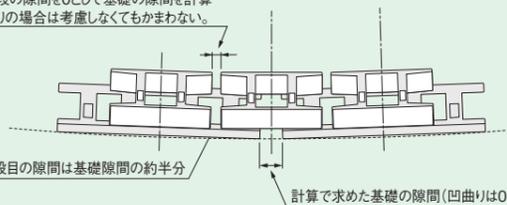
4 カーブ施工

■基礎ブロック

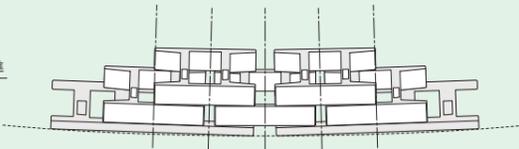


■1段目

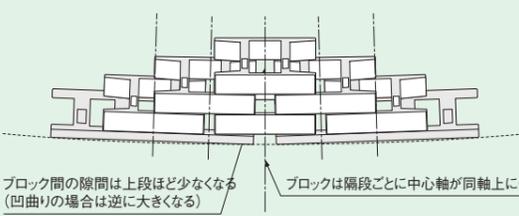
最上段の隙間を0として基礎の隙間を計算
凹曲りの場合は考慮しなくてもかまわない。



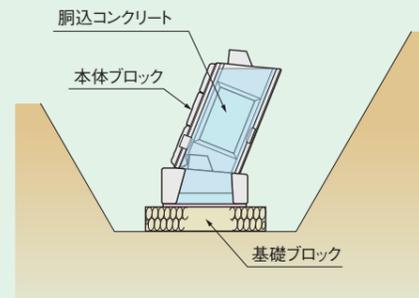
■2段目



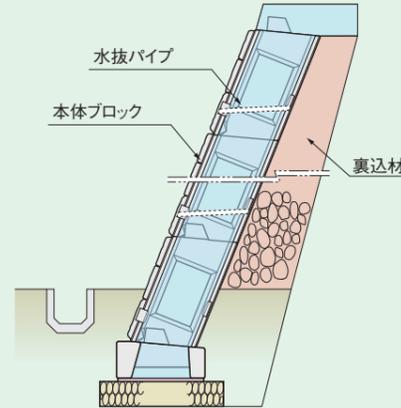
■3段目



3 本体ブロック据付工



1. 基礎ブロック上に本体ブロックを設置する際の敷きモルタルは不要です。
2. 本体ブロックを所定の位置にセットすると、下段ブロック上部の突起が作用し、計画壁面勾配を維持し自立します。
3. ブロック上部の突起は、その上段のブロックと横方向に噛み合わせ構造となっているため、敷設の際、所定の位置に簡単にセットできます。
4. 裏込工および胴込コンクリートは一段ごとに行い、ブロック高さの1/2~2/3程度とします。



5. 排水工は水抜きパイプを2~3m²に一箇所設けます。ただし河川護岸または擁壁前面に水位がある場合は設けません。
6. 水抜きパイプの取付けは、本体ブロック前・後壁端部下方に一部厚みを切り水位欠いた残り部分をハンマー等で打ち抜き、パイプをセットします。

KPBブロック (高擁壁用)

●用途

KPBブロック(高擁壁用)は、ブロック単体壁面の大型化を図るとともに、多くの付加価値(省力化、省人化、安全性等)を兼ね備えた、最も施工性に優れた大型練積擁壁です。

道路土工擁壁工指針(平成24年度版)の「通常のブロック積擁壁に準じた大型ブロック積擁壁」に対応しております。

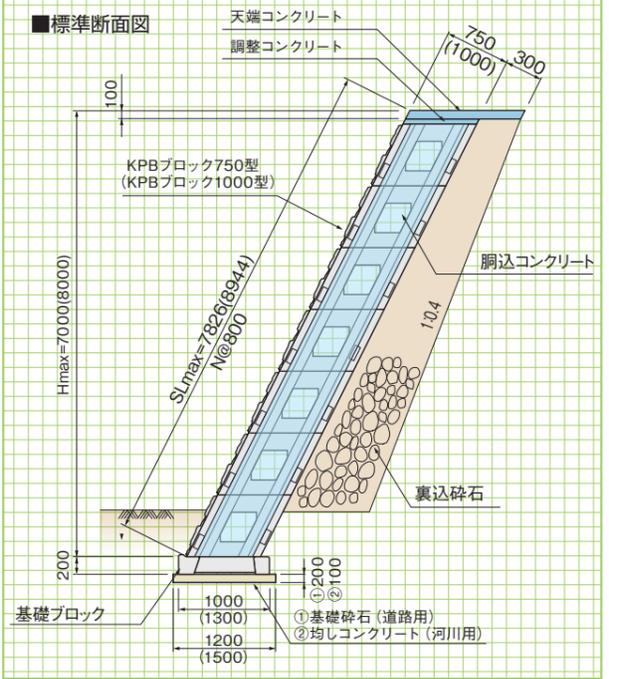
構造形式選定にあたっては、「国土交通省制定 土木構造標準設計」「道路土工指針<ブロック積(石積)擁壁>」を参考にしてください。

■控長に応じた勾配と直高の関係(m)

背面勾配	1:0.3	1:0.4	1:0.5
控長			
50cm以上	—	~3.0	~5.0
75cm以上	~4.0	~5.0	~7.0
100cm以上	~5.0	~7.0	~8.0

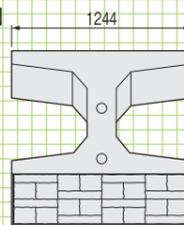


■標準断面図

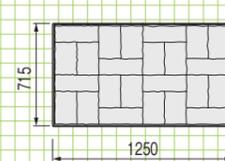


■本体 A型

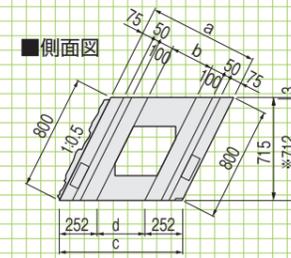
■平面図



■正面図

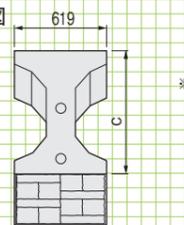


■側面図

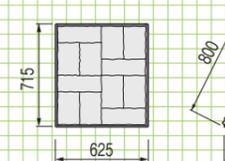


■本体 B型

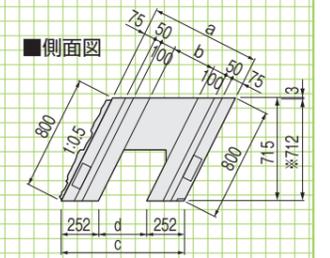
■平面図



■正面図



■側面図

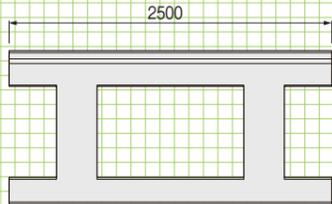


■本体寸法・重量表

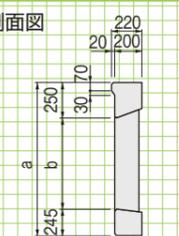
呼称	型	寸法(mm)				胴込量(m ³)	参考重量(kg)
呼び寸法		a	b	c	d		
750	A型	750	300	839	335	0.466	666
	B型	750	300	839	335	0.206	396
1000	A型	1000	550	1118	615	0.701	703
	B型	1000	550	1118	615	0.315	434

※製品改良のため前面高さより背面高さが3mm下がっている製品がございます。

■平面図



■側面図



■基礎ブロック寸法・重量表

呼称	寸法(mm)		胴込量(m ³)	参考重量(kg)
	a	b		
750	1000	505	0.268	648
1000	1300	805	0.405	713

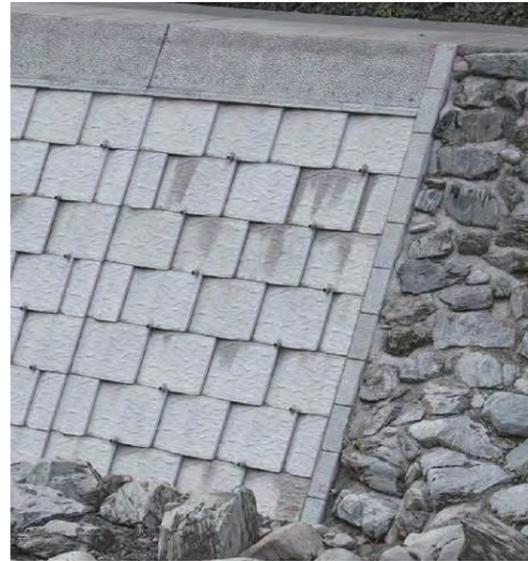
サイドブロック (プレキャスト小口止ブロック)



小口止め工をプレキャスト化
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

●特長

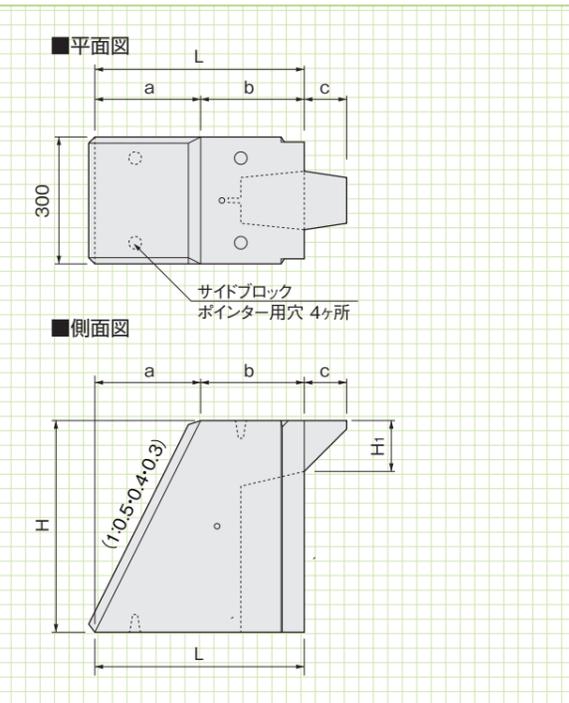
1. 1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
2. サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
3. サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。



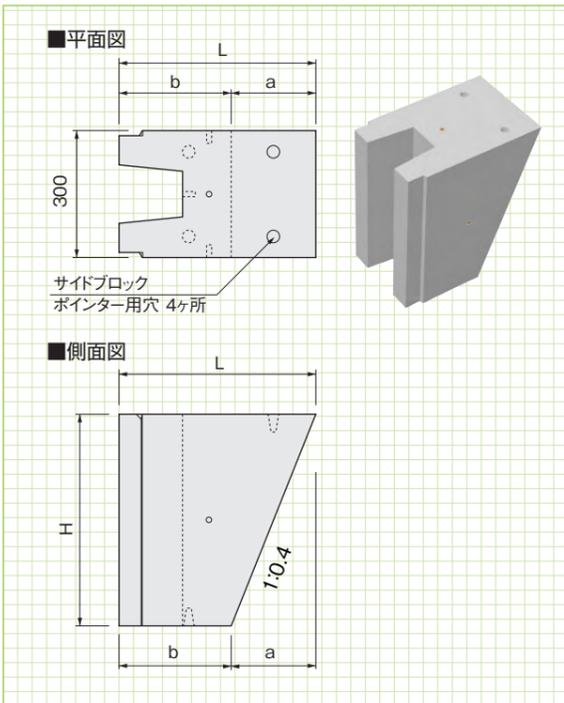
基本形状図

形状・寸法
重量

前面用ブロック、4分用ブロック、3分用ブロック



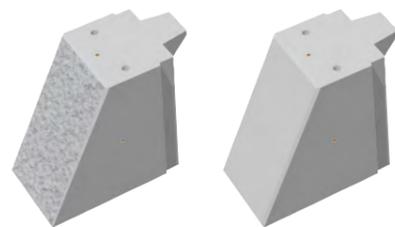
背面用ブロック



■寸法・重量表

呼称	寸法 (mm)						参考重量 (kg)
	L	a	b	c	H	H1	
3分用	485	150	335	100	500	120	130
4分用	485	200	285	100	500	120	121
前面用 (5分)	485	250	235	100	500	120	113
背面用 (4分)	465	200	265	-	500	-	103

※3分用ブロックは反転して背面用としても使用できます。

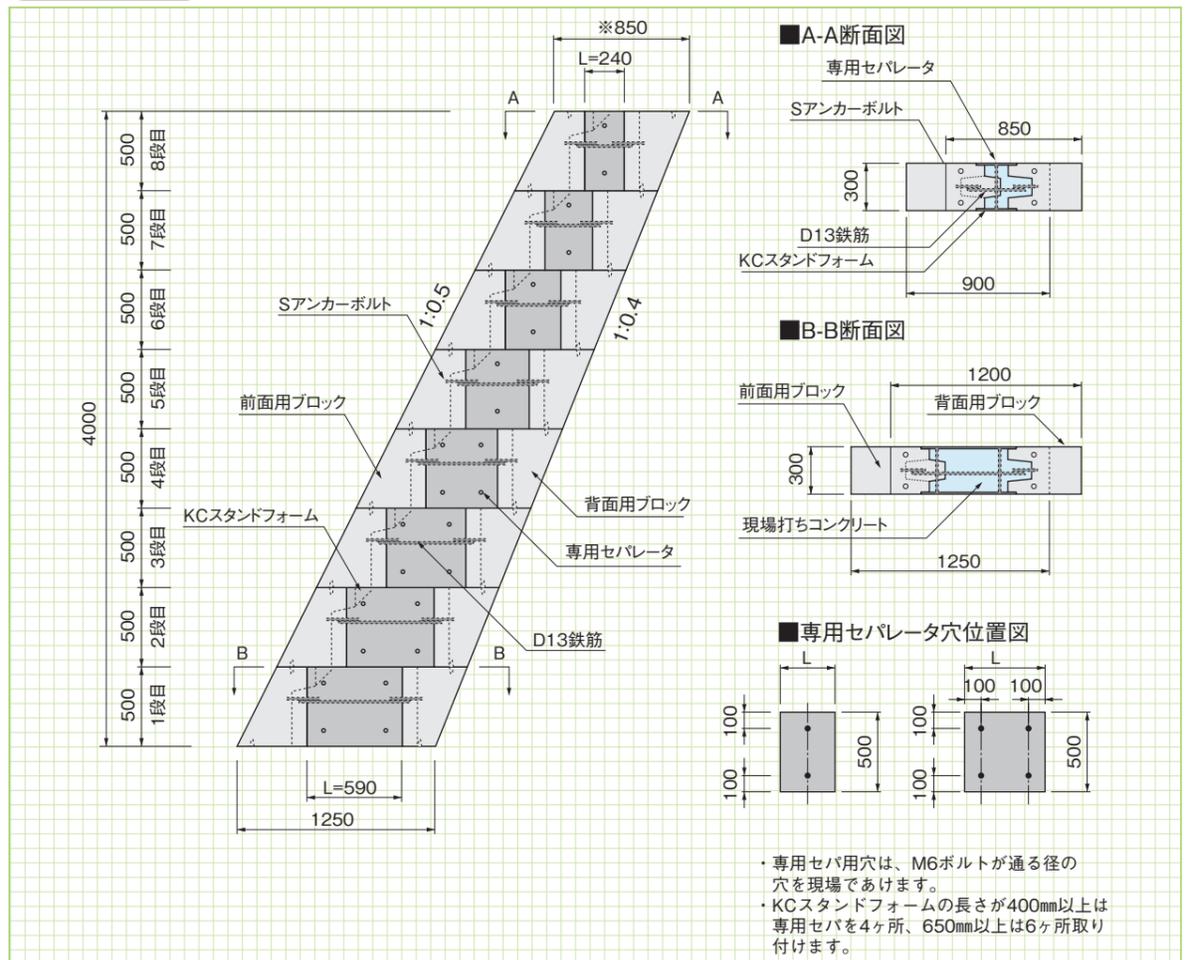


■表面はつり模様

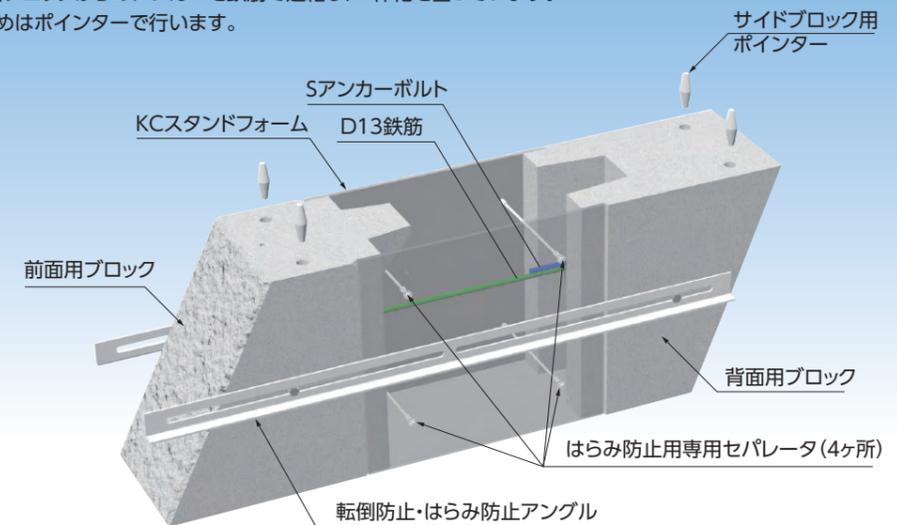
■表面滑面模様
※受注生産のため営業担当にご相談ください。

標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



標準施工
断面図

構造図